

副題設定の理由

本校では、特別支援学級（固定制知的障害）設置校のメリットを生かし、「交流及び共同学習の計画的実施」により、研究主題「ともに学ぶ『共生社会の第一歩』」に迫りたい。そのためには、受け入れ側の基礎的環境整備は、必要不可欠である。併せて「UDL*」（学びのユニバーサルデザイン）を取り入れた授業改善」といった**生徒自身による、自己の特性に合わせた環境に適應する力**の指導方法も研究していくため、本副題を設定した。特に、「学びのユニバーサルデザインを入れた授業改善」については、本校の大きなムーブメントにしていきたい。

第1分科会：支援者（教職員）の障害理解

○令和5年度校内研修

- | | | |
|-----|-----------------------------|--|
| 4月 | 交流及び共同学習について | 有澤 直人 氏
(教育研究所研究員) |
| 5月 | UDLを取り入れた授業改善 | (管理職授業観察) |
| 6月 | 交流及び共同学習及び
UDLを取り入れた授業改善 | 有澤 直人 氏 |
| 7月 | 交流及び共同学習実施計画 | 特別支援学級教員 |
| 8月 | 校内の基礎的環境整備
教室環境、DEN等 | 本校コーディネーター |
| 9月 | UDLを取り入れた授業改善 | (管理職授業観察) |
| 12月 | 研究の総まとめ | 中西 郁 氏
(十文字学園女子大学
教育人文学部
児童教育学科 教授
兼 同大学
特別支援教育研究所
所長) |
| 2月 | ともに学ぶ「共生社会の第一歩」 | 中西 郁 氏 |



※「UDL」とは、全員に画一的な方法で学習させるのではなく、代替手段をあらかじめ授業の中で設定し、生徒一人一人が個に合わせた形で、自分に合わせた手段を選択・実行できる学習環境を実現すること。目指す学習者像は、学びのエキスパートづくりとなっている。

○出前授業 ※()内は教員人数

・国語(1)、数学(2)、理科(1)、英語(1)、技術(1)、家庭(1)が年間を通して実施。

アンケート結果より

1 生徒アンケート(※個人が特定されぬよう内容を一部変更)

- (1) 特別支援学級(全員にアンケートを実施)
- ① 共同学習は楽しかったか? →概ね全員が肯定的回答
 - ② 主な感想
 - ・困ったとき、助けてもらったので、自分でも頑張ろうと思った。
 - ・通常の生徒と話す時、友達のように話したいと思っていた。
 - ・やっぱり大人数の教室や、せまい空間にいるのがつらい。
- (2) 通常学級(班学習を行った94名のみアンケートを実施)
- ① 共同学習は楽しかったか? →概ね全員が肯定的回答
 - ② 主な感想
 - ・友達っぽい感じで話せ、協力して作品を完成できた。
 - ・様々な案が出て、楽しかった。また、一緒に学習したい。
 - ・共に学ぶことの面白さを知れ、楽しかった。
 - ・もっとコミュニケーションを図ればよかった。



2 教職員アンケート

- (1) 特別支援教育の理解は深まったか?(全員に実施)
→概ね全員が肯定的回答
- (2) 共同学習は、通常の生徒への特別支援の啓発になったか?
(共同学習実施教員のみ実施) →45%が肯定的回答
- (3) 主な感想
 - ・打ち合わせ時間の確保は課題である。
 - ・UDLの活用により作業の負担を減らすことが出来た。
 - ・特別支援学級担当教員の授業内サポートが重要である。

成果と課題、今後に向けて…

1 成果と課題(まとめ)

交流及び共同学習を推進する中で、出前授業や基礎的環境整備、学びのユニバーサルデザイン(UDL)等を実施することにより、指導者の障害理解が図れた。一方で、交流及び共同学習を実施した生徒の割合が少ないことや取組みが教員主導のため、生徒への浸透が弱く、「目指す生徒像」の具現化には至っていない。

2 今後に向けて…(まとめ)

交流及び共同学習を柱に、特別支援教育を推進する視点から、特別支援教育委員会を「部」として分掌に位置付け強化する。また、保護者の啓発や、生徒会を中心とした推進を図る。

令和5年度 江戸川区教育課題実践推進校
教育課題(特別支援教育)

研究主題

ともに学ぶ「共生社会の第一歩」
～交流及び共同学習と交流及び共同学習
を支える学びのユニバーサルデザイン
(UDL)を取り入れた授業改善～

目指す生徒像

多様性を認め、今までのスタンダードにとらわれず、様々な価値や発想を取り入れることで、個人や社会全体の成長と幸せを実現しようとする生徒



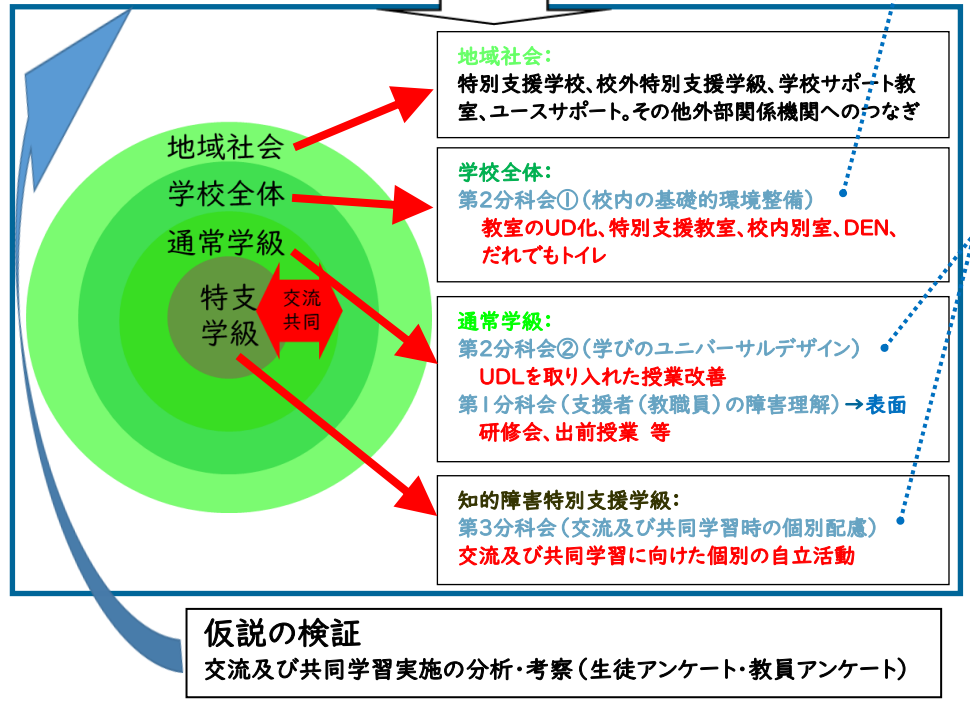
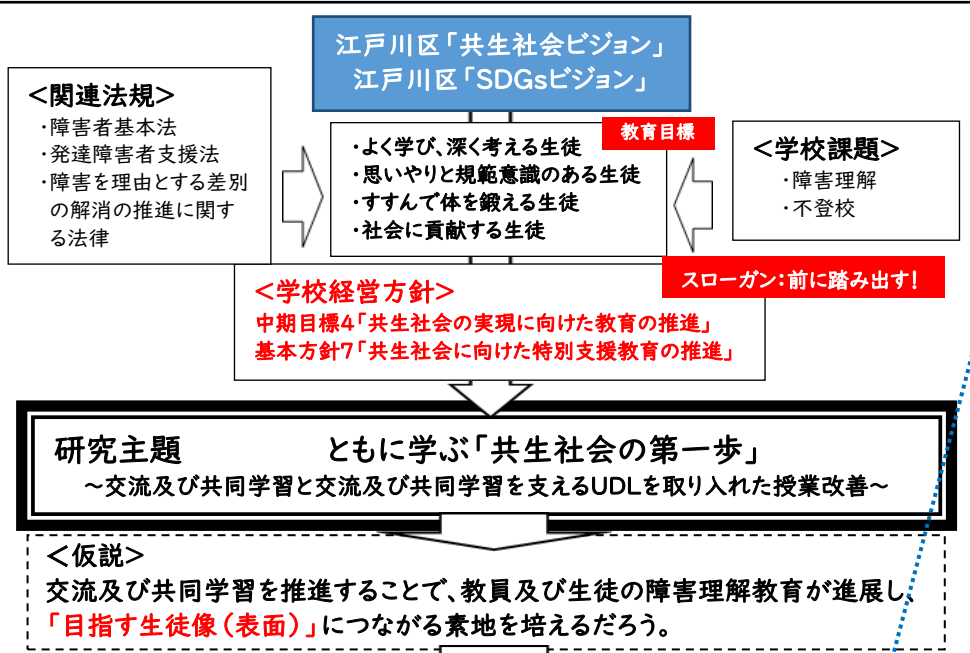
交流及び共同学習で作成した
特別支援学級生徒作品

主題設定の理由

- ① 江戸川区ビジョンの視点から
2100年「共生社会ビジョン」、2030年「SDGsビジョン」の実現のために…
- ② 喫緊の学校課題の視点から
○特別支援学級設置校として、生徒に対する障害理解教育の必要性…
○不登校生徒に対する個別支援を充実させる必要性…
- ③ 学校教育目標の視点から
「社会に貢献する生徒」として、自らを社会に表出するといった行動目標の実現のために…

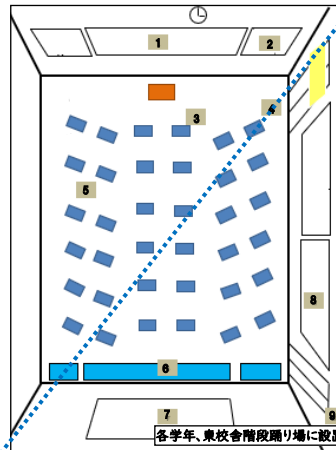
令和6年2月1日(木)
江戸川区立篠崎中学校

研究構想図



第2分科会①: 校内の基礎的環境整備

- ①黒板周りはすっきり
- ②教具棚にはカーテン
- ③机・椅子の脚にパッド
- ④机の位置にマーキング
- ⑤両サイドの机の角度
- ⑥ロッカーの整理・整頓
- ⑦後ろ黒板で一目で伝達
- ⑧鞆を廊下ラックに整理
- ⑨DENでクールダウン



※詳細については、本校HP「未来を担う子供たちの自立に向けて」～篠崎中学校の不登校・不登校傾向の生徒への支援～を御参照ください。

第2分科会②: 学びのユニバーサルデザイン

<UDLの3つの原則>

- 提示(理解)のための多様な方法を提供
 ⇒ 「何を」学ぶか(いろいろな学習リソースや知識を活用できる)
- 行動と表出のための多様な方法を提供
 ⇒ どのように学ぶか(方略を使いこなし、自分の学びの舵取りをする)
- 取組のための多様な方法を提供
 ⇒ なぜ学ぶのか(目標をもち、やる気がある)

※詳細については、別添「子どもの『主体性』を引き出す『学びのユニバーサルデザイン』を取り入れた授業実践」～UDLの3原則を取り入れた授業づくり～」を御参照ください。



第3分科会: 交流及び共同学習(個別の配慮)

本校では、令和5年度より実技教科で、年間一単元を目途に交流及び共同学習を実施しています。

<令和5年度交流及び共同学習実施予定>

教科	特別支援学級 学年	単元 (通常学級)	実施期間 (回数)
技術	第一・二学年	木工	9~12月 (12回)
	第三学年		
家庭	第一・二学年	献立作り	11月(2回)
	第三学年	介護体験	2月(2回)
音楽	第一・二学年	合唱 (3送会)	12~1月 (8回)
	第三学年	合唱 (卒業式)	
美術	第一・二学年	鑑賞	12月(1回)
	第三学年	鑑賞	12月(1回)
保健体育	全学年	ソーラン節	5月(4回)

※なお、その他の教科においては、個別の希望に応じて実施できることになっているが、令和5年度においては実施希望は出ていない。
 ※特別活動等における交流及び共同学習
 体育・文化的行事、遠足・宿泊的行事、部活動

<令和6年度交流及び共同学習実施予定>

教科	学年	単元 (通常学級)	実施期間(回数)
技術	第一学年	木工	9~12月(12回)
	第二学年	エネルギー交換	
	第三学年	プログラミング	
家庭	第一学年	染み抜き	11月(1回)
	第二学年	献立作り	11月(2回)
	第三学年	介護体験	11月(2回)
音楽	第一学年	合唱(三送会)	12~1月(8回)
	第二学年	合唱(三送会)	
	第三学年	合唱(卒業式)	
美術	第一学年	鑑賞	12月(1回)
	第二学年	写真	5月(2回)
	第三学年	鑑賞	12月(1回)
保健体育	第一学年	ソーラン節	5月(4回)
第二学年			
第三学年			